

教育広報

かけはし

第41号 平成11年9月20日発行
千代田区教育委員会



はにわを作って古代人の気分

主
な
記
事

☆ 中学校教育検討会「中間報告」概要

☆ 麴町二丁目公共施設基本設計概要

☆ 一日図書館員の体験

四番町歴史民俗資料館のものづくり教室で、夏休みに親子ではにわを作りました。火がよく回るように、穴の空けかたを工夫したため、ほとんど割れずに焼きあがりました。

*教育広報「かけはし」は資源保護のため再生紙を使用しています。

中学校教育では、戦後新制中学校が発足して以来、50年の歳月を経た今、多くの課題に直面し、その見直しが求められています。また国の教育改革の動きも急であります。

千代田区教育委員会では21世紀における千代田区の中学校教育のあり方について多面的に検討し、新たな方向を見出していくため、昨年9月に学識経験者、教育関係者、区民の方々を構成員とする中学校教育検討会を設置したところです。

この検討会では、千代田区の中学生の置かれている状況や中学校教育の現状と課題、特色ある中学校づくりなどについて、これまで6回にわたって協議を進めてきました。これらの協議を通じて、21世紀に向けた中学校教育は、「子どもたちの夢や希望を育てる魅力ある中学校」として実現すべきものである、という中間報告が教育委員会に7月29日に提出されました。中間報告では、これまでの協議内容を整理し、今後の検討の方向性が示されていますので、その概要についてご紹介します。

【中学校教育検討会「中間報告」概要】



中学校教育の現状と望まれる学校像

(1) 子どもたちの変化と中学生の現状を救う学校像

心配される子どもたちの傾向	望まれる学校のあり方
受験勉強中心の生活に追われ、将来の夢や希望を育てる「ゆとり」を十分に持てない。	高等学校受験のための単なる通過地点ではなく、子どもたちが夢を実現するための第一歩となるような中学校
人や自然とのふれあいやコミュニケーションの機会が減ることにより、「無関心」「無感動」などが目立つ	自分の思いや願いを伝えたり、他人の考えや心情を理解するような人との関わりを通して学ぶ中学校
これまでの画一的教育の影響が残り、個性を十分に発揮できない子どもが多い。	画一的な教育を改め、子どもたちの個性や適性を大胆に育てる中学校
友達や地域とのつながりが少なく、孤立したライフスタイルに閉じこもりがちである。	友達や地域とのつながりを大切にする主体的かつ開かれた中学校

(2) 千代田区の中学校教育を一層充実させるために

千代田区の各中学校が重視してきたもの	さらに充実すべきもの
<ul style="list-style-type: none"> ○歴史と伝統に基づく校風 ○基礎・基本の徹底 ○経験と実績に基づく教育方法 ○各教科等の充実した指導 	<ul style="list-style-type: none"> ○特色を一層明確にした教育課程 ○個に応じた自己選択に基づく教育 ○生徒の主体的な学びを引き出す教育方法 ○課題に気付き解決する力を育てる教育

夢や希望を育てる魅力ある中学校とは

夢や希望を育てる魅力ある中学校	その具体像と改善の方向
基礎・基本がしっかり身に付く中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・分かる授業・楽しい授業の実現 ・教師の指導力の向上
生徒の個性に合わせて選べる特色ある中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・選択教科や総合的な学習の活用 ・通学区域の弾力的運用
興味と関心のあることを継続して学べる中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校の連携を深めた教育 ・中高一貫教育
豊かな人間性と創造性を持った人材を育てる中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちを人間として尊重する教育 ・地元の子どもたちの交流の場
地域の教育力を活用する開かれた中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域との連携 ・千代田区の風土にあった学校づくり

魅力ある中学校をつくるために — その具体的方策について —

(1) 多様な特色を持つ中学校をつくる

新学習指導要領のもとでは選択教科と総合的な学習の組み合わせにより、多様な教育課程を編成することが可能となる。例えば、下に示すような特色を各学校が持つとともに（一つの中学校が複数の特色を併せ持つこともある）、生徒や保護者が特色ある学校を選択できるよう、通学区域の弾力的運用を検討すべきである。

〈多様な特色を生かす中学校の例〉

A	〈国際理解教育〉に力を入れる中学校
B	〈芸術・伝統文化〉に親しませる教育を行う中学校
C	〈健康教育・スポーツ〉に力を入れる中学校
D	〈福祉教育〉に力を入れる中学校
E	〈情報通信教育〉に重点を置く中学校
F	〈環境教育〉に力を入れる中学校



(2) 中高一貫教育の導入

平成10年6月、学校教育法の一部が改正され、公立の中高一貫教育の選択的導入が可能となった。中学校と高等学校を入学試験なしに接続し、6年間かけてゆとりをもって、じっくりと学ぶことができれば「夢や希望を育てる魅力ある中学校」の一つとなりえる。今後、導入する方向で検討すべきである。

今後の検討の進め方

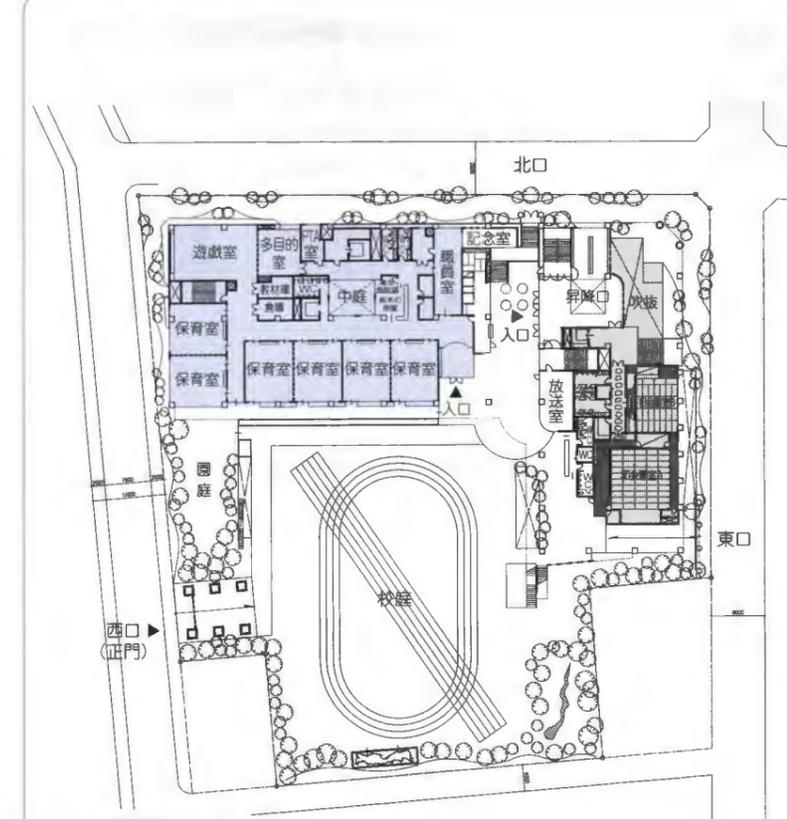
以上は、検討会の中で協議されました「夢や希望を育てる魅力ある中学校」をつくるためのアウトラインであり、今後、新しい中学校実現のための具体的方策、対応策などを検討していくこととなります。そのために、保護者や地域の方々、学校関係者などのご意見を幅広く伺ったり、児童・生徒・保護者の意識調査を行うなど、皆様からのご要望を反映させ、さらに検討を進めてまいります。ご感想やご要望をお気軽にお寄せ下さい。

教育委員会指導室 ☎(3264)0151 内線3120

「麹町二丁目公共施設」の基本設計概要について

麹町二丁目公共施設は、麹町小学校・幼稚園と新たに購入した隣接地を合わせた敷地に建設されるもので、麹町小学校・幼稚園、番町出張所・区民館、防災備蓄倉庫等からなる施設です。この施設を建設するに当たっては、地域及び学校関係者の皆さんと話し合いを続け、よりよい施設となるよう検討を重ねてきました。その中間報告として基本設計の概要をお知らせいたします。今後、細部にわたる具体的な検討を進め、さらによりよい施設となるよう努力してまいります。

階	施設の主な内容				
4階	ランチルーム 厨房 音楽室 家庭科室 児童会室 体育館上部 観覧席				
3階	普通教室6 国際理解教室 オープンスペース 談話コーナー 図工室 理科室 体育館兼講堂				
2階	普通教室6 多目的室 オープンスペース 談話コーナー 図書室 相談室 コンピュータ室 保健室 職員室 校長室 事務室 会議室 PTA室				
1階	<table border="1"> <tr> <td>幼稚園</td> <td>保育室6 遊戯室 多目的室 絵本の部屋 職員室 PTA室</td> <td>小学校</td> <td>主事室 昇降口 放送室 記念室</td> </tr> </table>	幼稚園	保育室6 遊戯室 多目的室 絵本の部屋 職員室 PTA室	小学校	主事室 昇降口 放送室 記念室
幼稚園	保育室6 遊戯室 多目的室 絵本の部屋 職員室 PTA室	小学校	主事室 昇降口 放送室 記念室		
出張所区民館	和会議室A（舞台付） 和会議室B（水屋付） 事務室 サロンギャラリー 洋会議室A 洋会議室B 小会議室 多目的ホール 倉庫				
地下1階	25メートルプール 幼児用プール 監視室 採暖室 更衣室等				
その他	防災備蓄倉庫 ストックヤード 消防倉庫 駐車場 駐輪場 機械室等				



1階平面図
区民館和会議室等
幼稚園
小学校エントランス等

計画概要	
所在地	千代田区麹町二丁目8番2
敷地面積	6,474.69㎡
地域地区	第二種住居地域
	防火地域
	建ぺい率 80%
	容積率 400%
建物規模	地下1階 地上4階
小学校・幼稚園延べ面積	約10,000㎡
出張所・区民館延べ面積	約1,500㎡

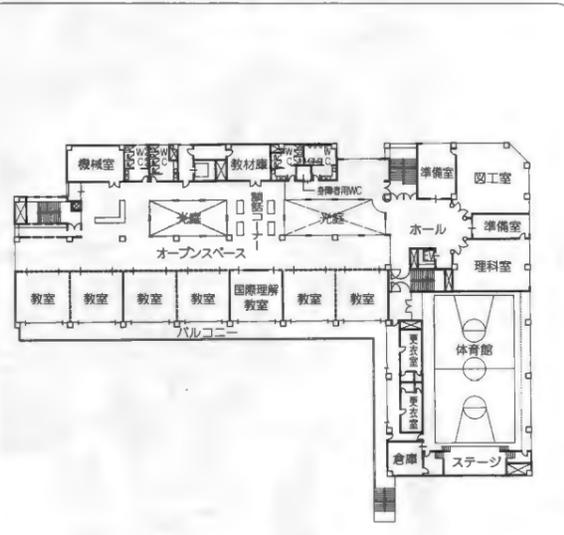
施設の基本的考え方

1 小学校・幼稚園

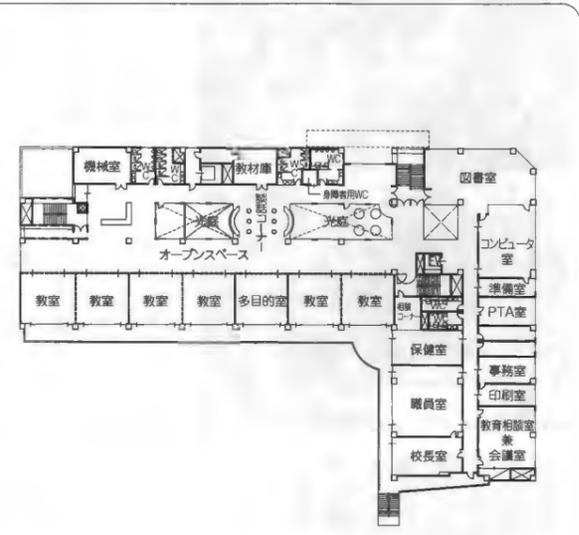
- (1)新しい時代に対応した開かれた施設
学校教育の場としてはもちろん、コミュニケーションスクールとしての生涯学習の場、子育て相談の場、災害時の避難場所としても利用される地域に開かれた施設として整備します。
- (2)あらゆる年齢層の方々にやさしい施設
バリアフリーの考え方に基づき、子どもからおとしよりまであらゆる年齢層の人々が快適に安心して利用できる、ゆとりと配慮のある施設として整備します。
- (3)多様な学習活動が展開できる施設
個別学習、グループ学習、課題解決学習など多様な学習活動が行えるよう、オープンスペース等多様な空間を整備します。
- (4)防災拠点としての役割が最大限果たせる施設
災害発生時の地域の避難場所および防災拠点としての役割が最大限果たせるように、十分な強度と安全性をもつ施設として整備します。
- (5)環境に配慮した施設
環境や自然保護および資源循環に配慮し、省エネルギーに心掛ける施設として整備します。

2 出張所・区民館

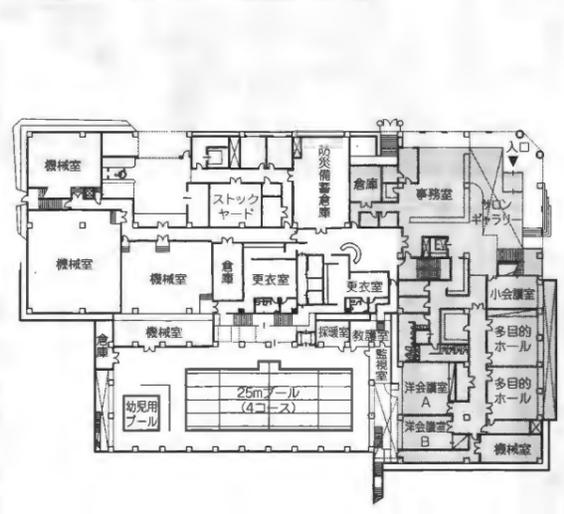
新しい「出張所・区民館のあり方」の理念に基づいた、区民に身近な地域コミュニティの核としての機能および行政窓口機能を備えた施設に整備します。



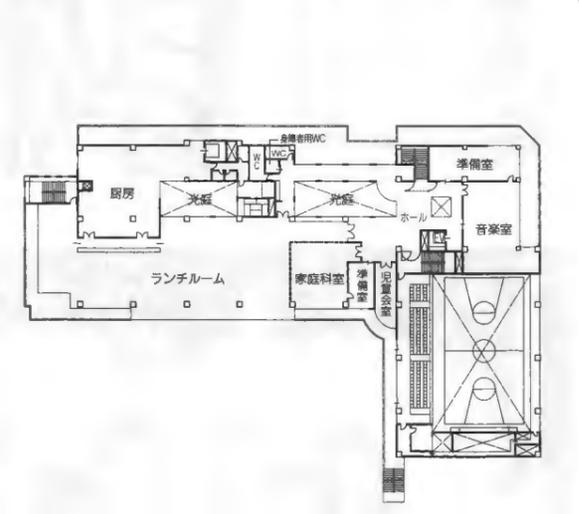
3階平面図
普通教室、オープンスペース
特別教室、体育館等



2階平面図
普通教室、オープンスペース
校長室、職員室等



地下1階平面図
番町出張所・区民館洋会議室等
プール、防災備蓄倉庫等



4階平面図
特別教室、ランチルーム等

8月20日(金)と24日(火)に小学生が「千代田図書館一日図書館員」に任命され、プールや海で真っ黒に日焼けしたちびっ子たちが図書館のお手伝いをしてくれました。図書館長から図書館員の心得を聞く時は緊張していましたが、すぐに慣れて楽しそうに笑顔で仕事に取り組みました。それでは一日図書館員の様子をご紹介します。

①図書館長から一日図書館員に任命される。ちょっと緊張気味。エプロン姿もきまってる。



②図書館のお兄さんから館内を案内してもらいました。普段見ることの出来ない開架書庫や、区立図書館の図書を集管理しているコンピュータ室などに興味津々。



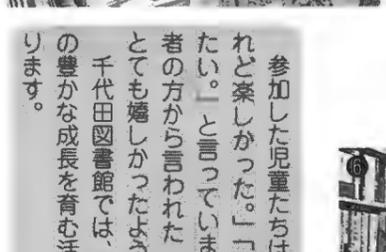
③新しい本はこうやって図書館の仲間になるんだよ。おっかなびっくり、図書の登録作業。



④本棚に並べる前にブックカバー掛け。私が貼った本、誰が借りてくれるかな?



⑤カウンターの受付も笑顔で対応できました。利用者の方も、小さな図書館員の手際の良さにびっくり。



⑥利用者の方のリクエスト本を探したり、返却された本を元に戻すことも大切な仕事。



参加した児童たちは「口々に疲れたけれど楽しかった。」「来年も是非参加したい。」と言っていました。また、利用者の方から言われた「ありがとう」がとても嬉しかったようです。千代田図書館では、今後も子どもたちの豊かな成長を育む活動を企画してまいります。

水泳大会で大健闘

一橋中水泳部が第39回全国中学校選抜水泳競技大会、男子400mリレーで、並び居る強豪チームの中、堂々第四位に入賞しました。記録は3分55秒76でした。また、第23回関東中学校水泳競技大会、女子400mリレーにおいて、4分15秒63の大会新記録で、第一位に輝きました。総合成績は第三位でした。

生徒たちの健闘を讃えるとともに、今後のさらなる飛躍を期待したいと思います。



左より 井出さん、粉川さん、原田さん、荒川さん、高橋さん(男子選手)
左より 木村先生(顧問)、小林さん、黒沢さん、秋山さん、宮脇さん(女子選手)

夏季施設の思い出



霧ヶ峰高原、蝶々深山山頂にて (一橋中)



夏だ! スイカだ! 保田の海 (富士見小)



霧の中一歩懸命歩いた乙女峠 (番町小)



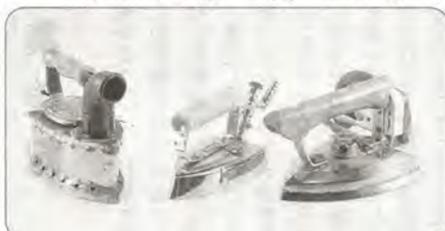
遠泳を前にちょっとドキドキ (九段中)

生活用具のうつりかわり アイロン

近年、家庭電化製品はその機能や材質、デザインなど飛躍的に進歩しています。アイロンもその一つです。現在のアイロンは大変便利で扱い易くなっています。アイロンが登場する以前はどのような道具で洗濯物のシワなどを延ばしていたのでしょうか。

江戸時代の頃から、先頭が三角形の鉄で出来た「裁縫鑊」と呼ばれる木製の柄の付いた金棒が使われ始めました。火鉢などに先端部分を差して加熱し、衣類を撫でるようにしてシワを延ばしました。すぐに冷めてしまうため、その都度加熱しなければならず、時間もかかりました。

裁縫鑊に代わって使われるようになったのが「火熨斗」です。前者と異なり、先頭部分が柄杓のようになっていて、そこに熱した炭を入れて使うため、熱し直す必要がなく、炭が無くなるまで使い続けることができました。火熨斗は裁縫鑊より重量があり、軽く動かすだけでシワが延ばせたようです。その後、明治時代に入ると火熨斗に代わって「アイロン」が登場します。最初に普及した炭火アイロンは火熨斗と構造は同じですが、形状が現在のアイロンに近くなりました。次にガスのアイロンが登場します。この型は主にクリーニング店などで業務用として使用されたほか、一般家庭でも使用していたようです。写真は業務用の物です。最後に電気アイロンが登場します。近年一般家庭では、電気アイロンが広く使われていますが、写真は普及し始めた初期の物で、現在のように、自ら霧を吹いたり、布地に合わせて温度調節したりできませんでした。少し前までのアイロン掛けは大変な家事でした。



アイロン (左から炭火・ガス・電気)



火熨斗



裁縫鑊

随想

きょういく

賑やかだったセミの音が消え、プールの上を赤とんぼが乱舞するころ、園庭からの涼風が合奏にも似た虫の声を運んできます。生命あるものの息吹が私たちの

五感を心地よく刺激し、気持ちと和ませてくれます。もう秋なのですね。幾度となく巡り合ってきた季節なのに何故か今年には心に残ります。熱く燃え続けた幼児教育への思いが職責の終りを感じるからでしょうか。それとも、移り行く時代の波を越えて岸が見えてきたのを実感するからでしょうか。

クローバーの花を摘んで首飾りにしたり、夏草の生い茂る園庭でバッタを探し続けた日々、子ども達と放したうさぎを探し回ったことも思い出されてなりません。私にとって失われた幼児期の自由に呼吸できる場を今の職場で取り戻したと言っても過言ではありません。

「教育は母の膝に始まり、幼年時代に伝え聞くすべての言葉が性格を形成する」。これは、イギリスの著名な科学者、パローの言葉ですが、母親の言葉や行動が、幼児との心のふれあいを通して学び取っていくことを端的に言い表しているように思います。

私の幼い頃の記憶はすべて戦争にかかわるものでした。幼児期の思い出は「空

襲警報」と飢えと貧しさ、「みんな我慢している」という言葉に何の抵抗もなく耐えた日々、家族や友達とのふれあいのなかで将来への希望と豊かさをとめて過ごした日々が懐かしい。専門職を身に付けたことが生涯働くことになり、「同じ働くなら、人のために

記憶に残る言葉

千代田区立富士見幼稚園長
角田 富美子



なる仕事を」というのが口癖だった母の姿は、働かざるをえない境遇への強がり

と慰めと思っていた私が恥ずかしい。結婚したら、母親は家において子育てに専念することが夢であったはずなのに、何故か母と同じ道を歩んでいるのです。

ふり返って、今の子ども達を見る限り、

「みんな持っている」という言葉に何の抵抗もなく買いつけられる物の豊かさ、現実とかけ離れた仮想世界の中で物を育て、殺人を繰り返す、「すぐ生まれるよ」「買ってもらうからいい」という言葉の中に、欲しい時に何でも与えられるという生活感覚から、生命の尊厳や耐えることを自ら学ぶのは難しい。不景気とはいえ一匹のくわがたが一千万円で売り買われる時代なのですから。

ともあれ、母親の言葉は何時までも記憶に残っているものです。これが、生命の奥底に刻み込まれていることなのでしょう。いつも口癖にいう何気ない一言、その中にこそ、このように育ってほしいという子どもへの願いが込められていると思うのです。であるならば、幼児期の性格づくりに参画する私たちも、自由におおらかに見守りながらも、「人に迷惑をかけないように」、「自分で決めたことは責任を持ってやり遂げるように」という言葉を一貫して伝えていきたいと思っております。

かくた ふみこ
千代田区立幼稚園園長

編集後記

日付が一日変わるだけで、日常生活に支障が出るのが予想されているコンピュータの2000年問題が、世界中で騒がれています。果たして実際にはどうなるのでしょうか。コンピュータが普及した現在、パソコンだけでなく、あらゆる家電製品などにマイクロチップが組み込まれ、気がつかないうちに使っていることに改めて驚かされます。指先ほどの一つのチップで格段の便利さを手に入れた反面、社会を混乱させていることに不思議な気がします。

さて、今号では中学校教育検討会の中間報告の概要についてお伝えしました。皆様のご感想・ご要望はいかがでしょうか。ぜひ教育委員会指導室までお寄せ下さい。また、麴町二丁目公共施設は、これから実施設計を経て、来年度には着工される予定です。地域の方々にも親しまれる施設となることでしょう。

2学期にはさまざまな行事が行われます。子ども達は一生懸命練習した成果を存分に発揮してくれることと思います。

「かけはし」についてのご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。

教育広報「かけはし」第四十一号
平成11年9月20日発行
編集発行／千代田区教育委員会
〒102-8688 千代田区九段南1-6-11
☎(32264)0151 内3114

きょういく 随想